

令和2年度の事業計画並びに収支予算

3月27日に開催予定の第152回理事会並びに第142回評議員会は、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して開催を中止し、当協会「定款」及び「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」の規定に基づいて、決議省略(みなし決裁)の手続きにより事業計画(案)並びに収支予算(案)の提案を行い、理事及び監事全員の同意、評議員全員の同意を書面により得て決議いただきました。

基本方針に基づき、社会保険制度の円滑な運営に寄与できるよう年金事務所や協会けんぽ等と連携協力し、事務講習会の開催、広報紙「社会保険ふくしま」の発行、「社会保険実務の手引き」等の参考図書配付、「無料入浴券」の配付、講師派遣等の健康づくり事業、ハイキングやボウリング大会等の支部事業等、各事業の充実と推進に努めながら事業所様をサポートできるよう全力で取り組んで参ります。

皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年度事業計画

◆基本方針

- (1) 社会保険制度の事業の円滑な運営に寄与するため、日本年金機構(県内年金事務所)及び全国健康保険協会福島支部、福島県社会保険委員会連合会(各地区社会保険委員会)と連携協力し、社会保険制度の普及宣伝及び被保険者等の福利増進を図ります。
- (2) 公益事業である事務講習会事業・広報事業・社会保険制度の普及事業を重点事業として実施するとともに、会員の皆さまに役立つ事業について、利用者や参加者が増えるよう充実と推進に努めます。
- (3) 全国社会保険協会連合会や各都道府県社会保険協会と連携し、社会保険協会組織の強化と事業推進に努めます。

◆会議

- 理事会を5月、12月、3月に開催する。
- 評議員会を5月(定時)と3月に開催する。
- 各支部(福島・郡山・平・会津若松・相馬・白河の6支部)において、支部計画に基づいて理事会・評議員会を開催する。
- 「社会保険ふくしま」編集委員を各地区1名委嘱するとともに、編集会議を6月に開催し紙面の充実に努める。
- 四者協議(社会保険協会・日本年金機構・協会けんぽ・社会保険委員会)を開催する。
- 支部事務局長会議、支部個別協議(ヒアリング)を実施する。



◆事務講習会事業

- 春に「算定基礎届等事務講習会」を6会場で6回開催する。
(「社会保険ふくしま」3月号にお知らせと出席申込書を掲載しております。)
- 秋に「社会保険事務講習会」を12会場で14回(計画中)開催する。
- 郡山支部で年金セミナーを9月に4会場で開催する。
- 「労働関係事務講習会(仮称)」を9月に郡山市で開催する。
- 年金受給者協会が開催する「年金受給説明会」に共催する。

◆社会保険制度の普及事業

- 「社会保険実務の手引き」(令和2年度版)を作成し5月に郵送する。
- 月刊「社会保険」誌を社会保険委員設置事業所に毎月郵送する。
- 11月12日に「年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式」を開催するとともに、優良事業主を選定し協会長感謝状及び記念品を贈呈する。
- 各事業所・社会保険事務担当者に役立つ参考図書等を購入し配付する。

◆広報事業

- 「社会保険ふくしま」を隔月(奇数月)に発行(郵送)する。
- ホームページ(<http://www.f-shimakyoukai.or.jp>)の充実に努める。
- 主な事業を掲載した「事業のご案内」を4月に発行(郵送)する。
- 令和2年度事業計画・収支予算を「社会保険ふくしま」5月号に、令和元年度事業実施結果・収支決算を「社会保険ふくしま」7月号に掲載する。



◆ 福利厚生事業

- 無料入浴券を作成し希望する(応募のあった)事業所に配付する。
- 全国の各都道府県社会保険協会との統一事業として、全国のホテル等を優待料金で利用できる施設優待事業(施設利用会員証の交付)を実施する。



◆ 支部事業

- 支部計画に基づいて、研修会やセミナー等を開催する。
- 支部計画に基づいて、健康づくりハイキング・健康づくりボウリング大会・健康づくりゴルフ大会・健康づくりソフトボール大会・健康づくりパークゴルフ大会等を開催する。

◆ 健康づくり事業

- リフレッシュ体操・ヨガ等の実技指導講師を希望する事業所へ無料派遣する。
- 健康講話や個別健康相談を実施する保健師を希望する事業所へ無料派遣する。
- 握力計・肺活量計等の体力測定器具を希望する事業所へ無料貸出する。
- DVD(全28タイトル)等の健康教材を無料貸出する。
(7タイトルを購入)



◆ その他の事業

- 東北地方社会保険医療協議会(東北厚生局)・健康長寿ふくしま会議(福島県)・福島県地域年金事業運営調整会議(日本年金機構)等の依頼に基づき各委員を推薦する。
- 事業推進のため関係団体との協力・連携の強化に努める。
- 組織強化のため会員の拡大に努める。

※ 事務講習会等の開催案内やハイキング等の参加者募集等は、「社会保険ふくしま」及び当協会ホームページ(www.f-shimakyukai.or.jp/)でお知らせいたします。

令和2年度 収支予算

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益	63,484,000	62,607,000	877,000
(うち会費収入)	(61,083,000)	(60,404,000)	(679,000)
(2) 経常費用			
① 事業費	40,557,000	41,389,000	△ 832,000
② 管理費	22,685,000	22,342,000	343,000
経常費用計	63,242,000	63,731,000	△ 489,000
当期経常増減額	242,000	△ 1,124,000	1,366,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	242,000	△ 1,124,000	1,366,000
一般正味財産期首残高	63,230,000	64,567,000	△ 1,337,000
一般正味財産期末残高	63,472,000	64,443,000	29,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	63,472,000	64,443,000	29,000

令和元年度事業実施結果並びに収支決算については、5月に開催予定の第153回理事会並びに第143回定時評議員会で審議が予定されております。また、任期満了に伴う役員改選も予定されており、承認後に「社会保険ふくしま」7・8号に「社会保険協会だより(2)」として掲載しご報告申し上げます。

令和元年度の事業実施結果について

第153回理事会及び第143回定時評議員会は、5月に開催予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大防止と安全のため、当協会「定款」及び「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」の規定に基づいて、決議省略（みなし決裁）により行い、令和元年度の事業実施結果並びに収支決算をご承認いただきました。

また、任期満了に伴う役員改選があり、山崎会長（新任／佐藤工業㈱）をはじめとする新役員体制（別表参照）をご選任いただきました。

事業実施結果については、事務講習会等の開催、「社会保険実務の手引き」配付、「社会保険ふくしま」の発行、無料入浴券の配付、施設優待事業、健康づくり事業、ハイキングやボウリング大会等の支部事業等、一部の事業で台風19号や新型コロナウイルスの影響があったものの、ほぼ計画どおり実施し、大変多くの皆さんにご参加とご利用をいただきました。

また、決算につきましては概ね予算どおり執行することができました。

皆様に御礼申し上げますとともに、引き続き社会保険制度の広報と皆様の福利増進のため全力を尽くしてまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年度事業実施結果報告

■ 会 議

- 本部「理事会」
…第150回～第152回の3回開催（3月の第152回は書面表決）
- 本部「評議員会」
…第141回～第142回の2回開催（3月の第142回は書面表決）
- 支部「理事会・評議員会」……………各支部とも2回開催
- 「社会保険ふくしま」編集会議……………6月に開催
- 四者協議（年金事務所・協会けんぽ・委員会・当協会）
……………4回開催
- 支部事務局長会議……………6月に開催
- 本部・支部個別協議（ヒアリング）……………各支部と1月に開催

■ 講習会事業

- 算定基礎届等事務講習会の開催
・6月開催／6会場・7回開催／出席者1,422名
- 社会保険事務講習会の開催
・10～11月開催／11会場・12回開催／出席者1,128名
- 労働保険事務講習会の開催
・9月に試みとして初めて開催／県内1ヶ所（郡山市）開催／出席者296名
- 年金セミナーの開催
・9月開催／郡山支部主催／4会場・4回開催／出席者105名
- 年金受給説明会の開催
・11～12月開催／年金受給者協会主催／6会場・6回開催／出席者199名



■ 広報事業

- 「社会保険ふくしま」を計画どおり隔月（奇数月）に6号発行
・10頁で2号、12頁で3号、14頁で1号発行（紙面充実）
・会員事業所へ郵送
・年金事務所及び協会けんぽの窓口に配置
・イメージキャラクター「ふくしゃん」を決定（表紙・紙面で活躍）
- ホームページ（<http://www.f-shimakyoukai.or.jp>）により広報
- 「社会保険協会事業のご案内」を作成し4月に郵送
- 事業状況等を「社会保険ふくしま」の5月号と7月号に掲載し報告

■ 社会保険制度の普及事業

- 「社会保険実務の手引き」（2019年度版/A4/105頁）を作成し5月に郵送
- 「月刊社会保険」誌を社会保険委員設置事業所に毎月郵送
- 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式の開催（四者共催）
・11月15日に開催し優良事業主11名に協会長感謝状及び記念品を贈呈
（表彰事業主等を「社会保険ふくしま」11月号に掲載）

■ 福利厚生事業

- 無料入浴券の配付
・「無料入浴券」を3,454事業所へ13,949枚配付
・契約入浴施設15ヶ所（入浴券1枚当たり492円支出）
- 施設優待事業
・全国の都道府県社会保険協会とともに共同事業として実施
・「施設利用会員証」を316事業所へ1,948枚交付

■ 健康づくり事業

- 実技指導講師の無料派遣……………22回／802名利用
・健康リフレッシュ体操・ストレッチ体操・ストレッチヨガ・ルーシーダットン・ヨガ等
- 保健師の無料派遣……………5回／115名利用
・保健師による健康講話・講演・個別健康相談等
- 体力測定器具の無料貸出し……………17回／472名利用
・握力計・背筋力計・肺活量計・ストップウォッチ・上腕式血圧計等
- DVD等の健康教材無料貸出し……………10回／274名利用
・28タイトルのDVD教材

■ 支部で実施した事業

- 健康づくりハイキング
……………6支部／8～10月／6回開催／302名参加
・観音沼森林公園（下郷町）・ブナの森（只見町）・小江戸川越・護摩堂山（新潟県）等
- 健康づくりボウリング大会
……………6支部／7～2月／10回開催／335名参加
- 健康づくりゴルフ大会
……………2支部／7～11月／3回開催／53名参加
- 健康づくりソフトボール大会
……………1支部／9月／1回開催／6チーム参加
- 健康づくりパークゴルフ大会
……………1支部／6～9月／2回開催／30名参加

■ 関係団体との協力・連携

- 外部委員活動（推薦）
・東北地方社会保険医療協議会臨時委員（事業主代表／厚生労働大臣委嘱）
・福島県「健康長寿ふくしま会議」に参加、推進部会委員（福島県知事委嘱）
・福島県地域年金事業運営調整会議委員（日本年金機構委嘱）
- 事業目的を達成するため各関係団体との協力・連携
・日本年金機構、全国健康保険協会、社会保険委員会、年金受給者協会、商工会議所及び商工会、経営者協会等、関係団体と協力・連携し事業の推進に努めた。



役 員

■本部役員

●任期満了に伴う理事・監事・評議員の役員改選があり
下記のとおり選任いたしました。(令和2年6月改選)

区分	役職名	氏 名 事業所名
新	会 長 (代表理事)	山 崎 誠 一 郎 佐藤工業(株)
新	副会長 (郡山支部長)	太 田 善 雄 (一財)太田綜合病院
再	副会長 (平支部長)	半 沢 幸 一 (公財)ときわ会
再	副会長 (会津若松支部長)	竹 田 秀 (一財)竹田健康財団
再	理 事 (相馬支部長)	立 谷 一 郎 (株)サンエイ海苔
再	理 事 (白河支部長)	藤 田 祐 太 郎 高田産商(株)
再	理 事	服 部 司 (株)福島製作所
新	専務理事 (業務執行理事)	星 善 作 (一財)福島県社会保険協会
再	監 事	坪 谷 常 吉 福島運送(株)
再	//	橋 本 明 良 福島県信用保証協会
新	評議員	星 春 男 (株)福島県中央計算センター
再	//	嶋 原 達 夫 東邦ゴム工業(株)
再	//	石 堂 修 福島製鋼(株)
新	//	吉 田 陽 子 (株)ヨシダコーポレーション
新	//	益 子 邦 雄 林精器製造(株)
新	//	清 水 威 幸 (株)清水商店
再	//	芳 賀 潔 トーホク装美(株)
再	//	佐 久 間 博 巳 常磐興産(株)
再	//	高 久 田 達 雄 (株)日星製作所
再	//	渡 邊 泰 夫 會津通運(株)
再	//	佐 原 元 (医)佐原病院
再	//	宮 森 優 治 榮川酒造(株)
新	//	稻 荷 田 和 敏 丸三製紙(株)
再	//	松 下 正 浩 松下建設(株)
再	//	牧 野 富 雄 白河信用金庫
再	//	藤 田 光 夫 藤田建設工業(株)

■支部役員

●県内の年金事務所ごとに6支部があり、各支部役員
名簿はホームページ(<http://www.f-shimakyoukai.or.jp/>)に掲載しております。

収 支 決 算

■令和元年度一般会計貸借対照表

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産	15,320,265	17,393,350	△ 2,073,085
2 固定資産	58,015,502	57,250,502	765,000
3 繰延資産	0	0	0
資産合計	73,335,767	74,643,852	△ 1,308,085
II 負債の部			
1 流動負債	982,965	3,033,595	△ 2,050,630
2 固定負債	7,913,901	7,148,901	765,000
負債合計	8,896,866	10,182,496	△ 1,285,630
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	64,438,901	64,461,356	△ 22,455
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	64,438,901	64,461,356	△ 22,455
負債及び正味財産合計	73,335,767	74,643,852	△ 1,308,085

■令和元年度一般会計正味財産増減計算書

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益	61,560,405	62,055,654	△ 495,249
(うち会費収入)	(60,050,400)	(60,237,200)	(△186,800)
(2) 経常費用			
① 事業費	40,046,793	40,622,601	△ 575,808
② 管理費	21,536,067	21,398,956	137,111
経常費用計	61,582,860	62,021,557	△ 438,697
当期経常増減額	△ 22,455	34,097	△ 56,552
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 22,455	34,097	△ 56,552
一般正味財産期首残高	64,461,356	64,427,259	34,097
一般正味財産期末残高	64,438,901	64,461,356	△ 22,455
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	64,438,901	64,461,356	△ 22,455